

(ACLS の歴史)

1979 年 第 3 回 CPR 会議にて最初の ACLS が完成

1992 年 第 5 回 CPR 会議 第 1 回 ILCOR 会議

2000 年 第 1 回国際 CPR,ERC ガイドライン会議にて心肺蘇生と救急心血管治療のための  
国際ガイドライン 2000 作成

2005 年 ガイドライン 2005 作成

(VF/pulseless VT)

とにかくできるだけ早期の除細動が必要である。

Primary ABCD

A: Airway: 気道確保

B: Breathing: 陽圧換気

C: Circulation: 心臓マッサージ

D: Defibrillation: 除細動 (200J,200 ~ 300J,360J または同等の二相性)  
持続性または再発性 VF/pulseless VT

Secondary ABCD

A: Airway: 二次気道確保器具の挿入

B: Breathing: 効率的な酸素化と換気

C: Circulation: 静脈路の確保

D: Differential Diagnosis:原因の検索と治療  
epinephrine 1mg 3-5 分毎に繰り返す

(PEA: Pulsless Electrical Activity)

脈が触知できないモニター上の電氣的活動を意味し、原因の診断と治療が必要。

鑑別:ACS 肺塞栓症 緊張性気胸 心タンポナーデ 循環血液量減少 低酸素症 アシドーシス  
低体温 カリウム異常 薬物過量 等

(AMI)

まず緊急で施行する迅速な一般的治療は MONA (Morphine, Oxygen, Nitroglycerin,  
Aspirin)と記憶する。

(徐脈)

まずはアトロピンと経皮ペースングにて対応する。